

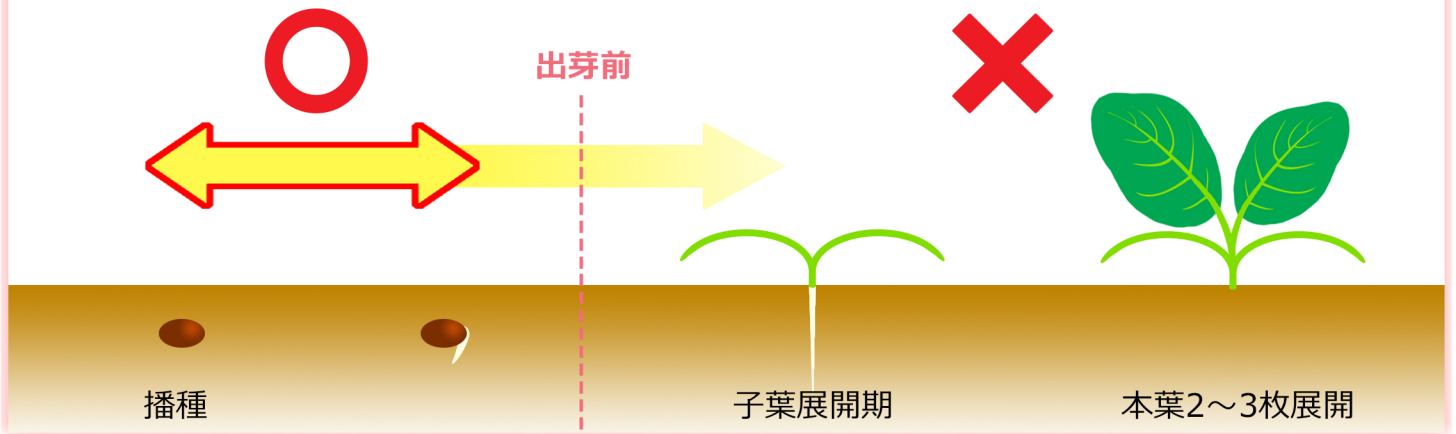


有効成分：アシュラム……37.0% 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

安全に使用して頂くためのお願い(薬害)

- ①ほうれんそうの播種後～出芽前まで、雑草の発生前～発生始期に、使用量を守ってお使いください。
- ②子葉展開期以降は品種により薬害のおそれがあるので、使用はさけてください。
- ③高温時(最高気温25℃以上)では薬害が生じるおそれがあるので使用しないでください。

★推奨使用時期



- ・施設栽培（ハウス、雨よけ、トンネル等）では薬害が出やすい傾向にありますので、高温となるような条件下では使用しないでください。
- ・砂壤土、砂土では薬害を生じやすいので注意してください。
- ・新品種に使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

適用雑草と使用方法<抜粋>

*印は本剤およびアシュラムを含む農薬の総使用回数を示します。

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	10アール当り使用液量	使用方法	適用地帯	総使用回数*
ほうれんそう	—	一年生雑草	播種後～子葉展開期	秋播き 600～800ml 春～初夏播き 800～1000ml 但し、芽出し播きは800ml	100～200ℓ	全面土壌散布	—	1回

⚠️効果・薬害等の注意

- 雑草の発生程度により許容薬量内で使用量を増減してください。
- ほうれんそうに使用する場合は、決められた使用期限内で、雑草の発生前～発生始期に散布してください。
- 本剤は吸収・移行性の高い薬剤ですが、局所散布および群生地散布の場合には必要に応じて展着剤を添加し、よく付着するように十分散布してください。
- 局所散布または群生地散布は所定薬量内で雑草の茎葉部をねらって散布してください。
- 砂土での土壌処理は発芽前雑草に対して残効性が劣るので、使用はさけてください。
- 本剤はヒユ科、アカザ科、カヤツリグサ科雑草およびザクロソウ、ツユクサ、ギョウギンパに対して効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場での使用はさけてください。
- 本剤は遅効性で、効果が現れるまでかなりの時間を要し、散布時期が遅れると効果が劣るので、時期を失しないように散布してください。

⚠️安全使用上の注意

- 眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。散布後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
 - 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札をたてるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
 - 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管……密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な所に保管してください。

本印刷物は2020年11月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。